

承認組合（※）による農業法人への出資事例

【承認組合の概要】

組 合 名 称	みなとAファンド投資事業有限責任組合	
運 営 主 体	みなとキャピタル株式会社	
組 合 員	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社みなと銀行 ・みなとキャピタル株式会社 	
組 合 規 模	10億円（うち、農業法人投資育成事業分：3億円）	
投 資 対 象 の 範 囲	原則、兵庫県内及び大阪府内の農業法人	
上 記 組 合 に 関 する 問 い 合 せ 先	担当部署	みなとキャピタル株式会社 投資業務部
	連絡先	T E L : 078-361-1511

※「承認組合」とは、農業法人投資育成事業に関する計画について農林水産大臣の承認を受け、農業法人の株式等の取得及び投資先農業法人に対して経営又は技術の指導を行う投資事業有限責任組合のことです。

【出資概要】

事 例 1	出 資 先 名	株式会社実里
	所 在 地	兵庫県三木市
	事 業 内 容	イチゴ狩りの観光農園の運営及びイチゴを原料とした加工品販売事業
	出 資 額	10百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	<p>同社は、平成20年に現代表者が就農を志して創業したイチゴ狩り観光農園を運営。主力品種である「あきひめ」・「紅ほっぺ」・「かおり野」の品質や、園内で軽食を提供するサービスは、多方面で高い評価を得る等、関西でも人気のある観光農園。</p> <p>今回は、観光農園事業に加え、年間を通じて、農園で栽培したイチゴをバームクーヘン等の原料として加工販売する事業を広域展開する資金へ充当するものであるため、6次産業化支援及び地域活性化に資する案件として、出資を決定した。</p>
	出 資 金 の 使 途	運転資金
	出 資 形 態	新株予約権付社債引受
	契 約 時 期	平成28（2016）年9月

事例 2	出 資 先 名	株式会社レゾン
	所 在 地	山梨県甲州市
	事 業 内 容	醸造用ぶどうの栽培
	出 資 額	50 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	<p>同社は、ワイナリー、レストラン、ホテル等を運営するレゾングループ（本部：兵庫県尼崎市）が設立した農地所有適格法人。</p> <p>北海道空知郡中富良野町をはじめ全国約 60 ヘクタールの圃場で、高品質な醸造用ぶどうの栽培を計画。収穫されるぶどうは、今後設立予定である自社ワイナリーの原材料として使用し、製品は まるき葡萄酒株式会社（山梨県甲州市勝沼町）をはじめ同グループのネットワークを通じて販売する。</p> <p>今回は、中富良野町及び富良野市の同社圃場の整備や資材調達等の生産体制を整備することにより、同社が進める 6 次産業化を支援することで地域雇用の創出が期待できること、近年人気が高まる日本ワインに対するニーズにも応えるものであること等から出資を決定した。</p>
	出 資 金 の 使 途	設備資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
契 約 時 期	平成 28 (2016) 年 10 月	

事例 3	出 資 先 名	株式会社やぶの農家
	所 在 地	兵庫県養父市
	事 業 内 容	農産物の生産販売、農作業受託、農業土木
	出 資 額	10 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	<p>同社は、国家戦略特区である兵庫県養父市において、特定事業者である福井建設株式会社（養父市）と株式会社オーク（豊岡市）によって設立された農地所有適格法人。平成 27 年 8 月より、同市において産地形成が進んでいるニンニクやりんどうをはじめ、もち米などの栽培を手掛けている。</p> <p>今回は、生産能力の拡充を図るため、農業用機械設備等の購入資金として使用するものであり、こうした体制整備に加え、農業土木にも取り組むことで、農業の生産性の維持向上及び産地形成の更なる促進に貢献するものであることから出資を決定した。</p>
	出 資 金 の 使 途	設備資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
契 約 時 期	平成 28 (2016) 年 12 月	

事例 4	出 資 先 名	株式会社レゾン（事例2と同一先）
	所 在 地	山梨県甲州市
	事 業 内 容	醸造用ぶどうの栽培
	出 資 額	45 百万円
	出 資 の 経 緯 （ 目 的 ）	<p>同社は、ワイナリー、レストラン、ホテル等を運営するレゾングループ（本部：兵庫県尼崎市）が設立した農地所有適格法人。</p> <p>北海道空知郡中富良野町をはじめ全国約 60 ヘクタールの圃場で、高品質な醸造用ぶどうの栽培を計画。収穫されるぶどうは、平成 29 年 6 月に設立された 6 次産業化事業体（ワイナリー）の原材料として使用し、製品はまるき葡萄酒株式会社（山梨県甲州市勝沼町）はじめ同グループのネットワークを通じて販売する。</p> <p>今回は、平成 28 年 10 月の出資 50 百万円（事例 2）に続くもので、同社が醸造用ぶどうを栽培する中富良野町及び富良野市の圃場の整備や資材調達等の生産体制を整備することにより、同社が進める 6 次産業化を支援することで地域雇用の創出が期待できること、近年人気が高まる日本ワインに対するニーズにも応えるものであること等から出資を決定。</p>
	出 資 金 の 使 途	設備資金
	出 資 形 態	無議決権株式引受
	契 約 時 期	平成 29（2017）年 12 月

事例 5	出 資 先 名	株式会社グリーンファーム
	所 在 地	兵庫県川辺郡猪名川町
	事 業 内 容	イチゴ狩りの観光農園の運営及びイチゴを原料とした加工品販売事業
	出 資 額	10 百万円
	出 資 の 経 緯 (目 的)	<p>同社は、2008 年に土木建設業の(有)清田組の代表者によって設立された農地所有適格法人で、イチゴ狩り観光農園を営む。</p> <p>主力品種は「章姫」・「かおり野」・「紅ほっぺ」・「恋みのり」。</p> <p>高設栽培、広いレーン間、整備されたトイレ等の施設、アットホームな雰囲気等が好評で、オープン1年目ながらリピーターも多く、快適なイチゴ狩りが楽しめるという好評を得ている、人気のある観光農園。</p> <p>代表者は、イチゴづくりに研究熱心で、単収6トンと生産面も安定感見込める。</p> <p>今回は、営業時間の倍増や、バーベキュー事業の新設、農園で栽培したイチゴを加工販売する事業を展開する資金へ充当するものとして、6次産業化支援及び地域活性化に資する案件として出資を決定した。</p>
	出 資 金 の 使 途	運転資金
	出 資 形 態	新株予約権付社債引受
	契 約 時 期	平成 30 (2018) 年 11 月